



Q 湯沢町消防団女性部の 必要性をどう考えるか

渡 辺 千 恵 (文責)



A 女性目線での活躍が 期待される

・ 消防器の使いかたや心肺蘇生などを浸透させられるのではないかと。
 ・ などさまざまあげられる。災害が起こった場合「自助、公助、共助」が大切であるが一番は「自助」である。

質問 先月、新潟県女性消防団員活性化大会に参加し、各市町村の取り組みを見て改めて湯沢町にも作る必要性を感じた。理由としては、今まで以上に地域に密着した活動ができるのではないかと。
 ・ 町民はもちろん、子供や高齢者にも自主防災についての心構えや行動を伝えられるのでは。
 ・ 火災、災害が昼間起きた場合に男性不在時、少しでも早く初動ができるのでは。



新潟県女性消防団員活性化大会

答弁 女性ならではのきめ細やかな活動が期待されるが町が決定権がないので、消防団、南魚沼消防などと協議をして進めていきたい。

・ オリンピック種目になり、子供達の夢にも繋がる。
 ・ 部活動地域移行の中、子供達の選択肢の一つになる可能性もある。
 ・ 小さなお子から大人まで、また親子で同じことを楽しめる。
 ・ スケートボード場ができることにより、将来アーバンスポーツにも繋がる可能性もあるのでは。
 ・ などです。まずは高架下を含め、スケートボード場を作ること考えているのか。

質問 今まで使っていた高架下が工事のため使えず、今年度は月2回の小学生スケートボード教室を旧ゲートボール場脇の駐車場で行ってきた。また多くの署名も出されている。スケートボードについての今後の可能性について

スケートボード場について



小学生スケートボード教室

答弁 申請が通るかわからないが申請を考えていきたい。(助成金はセクション部門で750万円の4/5の範囲)

質問 道具も古くなり怪我などが心配される。道具についてottoの助成金に適応できるのではないかと。
答弁 大きなことは予算、ニーズの問題からでないかもしれないが、時代のニーズも変わってきている。小学生なども興味があることなどから今後、高架下を含め考えていきたい。